

地域支援センター「ゆめここ」では、自立活動の視点を柱に地域支援に取り組んできました。今回は、地域支援における自立活動の重要性について整理しましたので、ぜひご確認ください。

自立活動の視点と教育的ニーズについて

- ☆ 「令和4年度学校教育指導の重点」の中で特別支援教育の重点事項で、特別支援学校、小・中学校、高等学校において、下記のように教育的ニーズを3つの観点で整理し、適切な教育につなげていくことが示されました。教育的ニーズについては、「ゆめここ通信 第6号」に整理したものを掲載（本校ホームページ）していますので、ご参照ください。

令和4年度 学校教育指導の重点より抜粋

子ども一人一人の教育的ニーズを3つの観点（①障がいの状態等、②特別な指導内容、③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容）を踏まえて整理し、自立と社会参加を見据え、その時点で最も適切な教育の提供に努める。

『福島県教育委員会 学校教育指導の重点（特別支援学校教育版、小・中学校教育版、高等学校教育版）』より

教育的ニーズを整理するための3つの観点

- ① 障害の状態等の把握
- ② 特別な指導内容（自立活動の指導内容）
- ③ 教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容

『障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～令和3年6月 文部科学省』より

☆ 対象となる児童生徒の障がいの状態を把握し、どのような特別な指導（自立活動の指導）が必要なのか、さらに、教育上の合理的配慮を含む必要な支援（いわゆる自立活動の視点を踏まえた配慮）が必要なのかを整理していくことで、今、最も適切な教育を提供していくことを、小・中学校、高等学校、特別支援学校など全ての校種で取り組んでいきましょう、ということが県の重点事項として示されました。

①対象児童生徒の障がいの状態等の把握

②特別な指導内容（自立活動の指導）の検討

③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容（自立活動の視点を踏まえた配慮）の検討

最も適切な教育の提供

教育的ニーズの整理

上記のことは、まったく新しいことではなく、これまで特別支援教育の中で私たちが日々の実践で取り組んできた視点と言えます。特に、自立活動の視点を踏まえた指導や配慮が、小・中学校、高等学校における特別支援教育で、これまで以上に必要とされていることが考えられます。

本校での教育的ニーズの整理

個別の指導計画 様式3-1

様式3-1 個別の指導計画（実施と指導計画）			
学年・学期	学級	年	氏名
【個別の指導計画、実施と指導計画（実施と指導計画）の記入方法について】			
1. 指導計画の目的（目的・目標）			
2. 指導計画の内容（指導計画の内容）			
3. 指導計画の評価（指導計画の評価）			
4. 指導計画の振り返り（指導計画の振り返り）			

①対象児童生徒の障がいの状態等の把握

②特別な指導内容（自立活動の指導）の検討

③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容（自立活動の視点を踏まえた配慮）の検討

本校ではすでに、個別の指導計画（様式3-1）で①②を、個別の教育支援計画（様式2）で③について記入し、児童生徒一人一人について「教育的ニーズ」を整理しています。また、根拠をもって指導にあたっていると云えます。

個別の教育支援計画 様式2

様式2 個別の教育支援計画（実施と指導計画）			
学年・学期	学級	年	氏名
【個別の教育支援計画、実施と指導計画（実施と指導計画）の記入方法について】			
1. 指導計画の目的（目的・目標）			
2. 指導計画の内容（指導計画の内容）			
3. 指導計画の評価（指導計画の評価）			
4. 指導計画の振り返り（指導計画の振り返り）			

地域支援における現状や課題の内容から

今年度の地域支援（相談支援や研修支援、地域の協議会等）では、対象児童生徒の課題や地域で必要とされている支援等について、以下のような内容が多くあげられました。

感情のコントロールが
難しい

気持ちが不安定

「心理的な安定」の要素

注目できない

課題の内容が理解できない

「環境の把握」の要素

適切な距離感

相手の気持ちの
理解が難しい

相手との適切な
関わり方

「人間関係の形成」の要素

自分の思いの伝え方

人とのやりとりの仕方

「コミュニケーション」の要素

☆ 上記のように、地域支援であげられた課題や必要とされる支援等を整理すると、自立活動の内容である「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「コミュニケーション」などの項目に分類することができます。これらの現状を踏まえて、日々の授業等の中でどのような指導や支援をしていくことが必要なのか。つまりは、どのような自立活動の指導や支援が必要なのかを考えていくことが、地域支援を行っていく上でも大切になってきます。



自立活動の指導や配慮については、これまで私たちが取り組んできた教育の中で培ってきたものであり、特別支援学校の専門性であると言えます。また、「学校教育指導の重点」や「地域支援における現状や課題」などを踏まえると、自立活動の視点については、より一層求められるようになってきています。私たちが日々の授業実践で取り組んでいることを基に、たむら支援学校全体で地域のセンター的機能を発揮していくことができればと思います。